

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 晃華学園中学校高等学校
種別 中高一貫教育

住所 〒182-8550

東京都調布市佐須町5-28-1

E-mail : koka2-h@kokagakuen.ac.jp

Website : <http://www.kokagakuen.ac.jp>

児童生徒数：女子 912名 合計 912名

児童・生徒の年齢 12歳～18歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ✓ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ✓ 国際理解
- ✓ 世界遺産
- ✓ 平和・人権
- ✓ 環境
- ✓ 伝統文化

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

・地球規模の問題に対する国連システムの理解

中学1年でユニセフ出前講座を実施した(11月)。DVD視聴、講師の講話などであった。本校が注目している世界の現状について、導入的な役割を果たす講座であった。

中学3年ではユニクロの「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加し、9月の文化祭にあわせて、多数の子供服の古着を回収できた。ユニクロ社員による出前授業もあり、UNHCRについての理解を深めることが出来た。また、11月にはカトリック目黒教会の難民支援(CTIC)のお話もうかがい、さらに理解を深めた。

・国際理解

高校2年(2月)にJICA出前講座を実施した。本校OGの職員と、カンボジアで体育教育の支援を行った元青年海外協力隊員の2名で実施した。実際の海外支援および現場について理解を深めることができた。

・世界遺産

中学2年で奈良・京都学習旅行(11月)を、高校2年で沖縄修学旅行(11月)を実施した。奈良では東大寺や法隆寺、京都では多くの寺院、沖縄では首里城などの世界遺産に触れることが出来た。

・平和・人権

中学2年でNPOホロコースト教育資料センターの「ハンナのかばん」講演(2月)を実施した。中学2年では「アンネの日記」を課題図書としており、ホロコーストに対する理解がますます深まった。

高校1年では、世界一大きな授業の参加(5月)、プランジャパンの講演(6月)を実施した。特に途上国での女性の置かれた立場の弱さ、人権について学んだ。

・環境

中学1年が調布市「緑と公園課」のホタル園からゲンジボタルの幼虫をあずかり、飼育した(10月~2月)。本年は生育状態は良くなかったが、おおむね順調であった。水槽から幼虫を取り出す作業を生徒たちが行い、愛着がわいた様子であった。

中学3年生がエコプロダクツ(12月)に出かけ、企業のCSRを体験した。有名な企業による様々な環境に対する取り組みを学ぶ良い機会となった。

・伝統文化

中学2年で能楽ワークショップ(2月)を行った。宝生流の能楽師を始め、囃子方などが来校し、仕舞・楽器演奏などの体験後、実演を鑑賞した。日頃はなかなか触れることのない伝統文化を体験する貴重なプログラムとなった。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ✓ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）